

平成17年度特別展

新潟の鮭

— 鮭を求めて1000年／2000kmの航跡 —

平成17年 9/17(土)・11/6(日)

新潟には鮭をめぐる長い歴史と豊かな文化があります。古代、鮭は越後の重要な産物でした。江戸時代、信濃川・阿賀野川で取れる鮭は、地域の食文化に欠かせない食材でした。そして幕末以降、鮭を求めて多くの船が新潟から北の海を目指しました。このいわゆる北洋鮭鱒漁は新潟港を根拠に発展し、新潟港に水揚げされる鮭鱒は1000万尾以上ものぼりました。北洋鮭鱒漁の発展に大きな役割を果たしたのは、新潟に集った漁業者や漁師たちであり、港町新潟の力でした。

今回の特別展は「新潟の鮭」という身近な視点から、鮭や船に関わった人々によってつむがれた港町新潟の歴史を紹介します。

展示紹介

◆鮭をめぐる越後の歩み

絵画や文書に描かれた、前近代までの鮭をめぐる歴史・文化について展示します。

◆産業化する北洋鮭鱒漁

生産・流通の技術開発によって市場を拡大した最盛期の北洋鮭鱒漁について展示します。

◆船が結ぶ新潟湊と蝦夷地

幕末の新潟湊と蝦夷地の結びつきの深まりと、越後人の活躍について展示します。

◆鮭の今

現代の新潟の鮭漁や、鮭を使った料理について展示します。

◆新潟港から北の海へ

新潟港に北の海を目指す人と船が集い、年1000万尾もの鮭鱒が水揚げされた時代。新潟港を根拠とする北洋鮭鱒漁の発展について北洋漁業家の資料を展示します。

関連事業

このほか、鮭を楽しむ料理など企画が盛りだくさんです。詳しい内容については、下記博物館までお問い合わせ下さい。

オープニングイベント

●日時／9月17日(土) 午前10時～12時半
先着100名様に加島屋特製鮭のチャンチャン焼きと協賛各社からのプレゼント
※「新潟の鮭」展観覧券購入の方、先着100名様に鮭のチャンチャン焼き試食券と小川屋・ぼるとカーブドッチからのプレゼント贈呈。
※ウォーターシャトルみなとぴあ・朱鷺メッセ間、午前4便に限り無料等。

展示解説会

●日時／9月18日、9月25日、10月2日、10月16日 ※いずれも日曜日、午後3時より
●会場／博物館本館1階 企画展示室

特別講演会

●日時／10月9日(日) 午前：10時半～11時45分 午後：2時～4時
【午前】講師／加島長作氏(株式会社加島屋代表取締役社長)
題目／「鮭と新潟の食文化」 ●会場／博物館本館2階 セミナー室
【午後】講師／赤羽正春氏(北方民俗研究者) ●参加費／無料
題目／「(仮題)越後衆の北海道出漁」 ●応募多数の場合、抽選になります
※申込み・往復はかきもしくは電子メールに氏名・年齢・住所・電話番号・希望する講演(講師名)を明記。
※下記博物館「鮭展特別講演会係」まで。9月24日まで必着。

大人向け 伝統の体験講座 「鮭の塩引き作り」

●日時／11月6日(日) 内容：昔ながらのしよっべえ鮭の塩引きを作ります。
●会場／クロスバルにいがた5階 調理実習室 ●参加費／実費
●定員／12人(応募多数の場合、抽選)
※申込み・往復はかきもしくは電子メールに氏名・年齢・住所・電話番号を明記。
下記博物館「塩引き作り係」まで。10月22日まで必着。
※申込み・詳細については下記博物館までお問い合わせください。



長宝丸新造控



大漁日誌



北海古漁図(部分)

INFORMATION

■観覧料(常設展示観覧料を含む)

	一般	団体(20名以上)
大人	700円	560円
大学生・高校生	500円	400円
中学生・小学生(平日)	200円	160円

■小中学生は、土・日・祝日の観覧料が無料になります。

■開館時間：※9月17日(土)企画展示室は午前10:00から開幕です。(常設展示室は午前9:30から)

午前9:30～午後6:00(9月まで)

午前9:30～午後5:00(10月より)

※観覧券の販売は閉館30分前まで

■休館日：9月20日・26日・27日／10月3日・11日・17日・24日・31日／11月4日

■交通案内

□新潟駅より：

新潟市観光循環バス
(犬夜叉号で15分)「歴史博物館前」下車すぐ
新潟交通「昭和大桥・入船町営業所」行きバスで25分「歴史博物館前」下車すぐ

□車で：

新潟バイパス紫竹山ICより約15分
(駐車場：73台収容可能)

□信濃川ウォーターシャトルが敷地脇に発着



みなとぴあ
新潟市歴史博物館
NIGATA CITY HISTORY MUSEUM

〒951-8013 新潟市柳島町2-10
TEL:025-225-6111
URL:http://www.nchm.jp
E-mail:museum@nchm.jp